

一般財団法人まちと人と 第三期事業実施報告書
期間：2023年10月1日～2024年9月30日

○第三期 総論

第三期は、理事及びスタッフの更新もあり、法人としての再スタートともなった期であった。第二期より実施してきた事業を引き継ぎ推進しながらも、法人としてのスタンスの見直し行っていくことで「法人としての現在地」をスタッフ全員が改めて確認や理解を行う期となった。

特に、2023年年末・2024年始にかけて、事業整理を行い2024年4月からは「高校生を主対象にした事業」に絞り込んだことは、当初予定していた事業計画から大きな変更点となった。変更後の各実施事業の推進については、スタッフの尽力があり、予定通りの実施ができた。また、各スタッフが担当する事業において、取組の価値ややりがい、意義を見出すことが出来ている様子がある。

一方、これまで以上に事業の成果や妥当性の解像度を上げていくため、改めて法人として「何のために」「誰に」「何をやるのか」を定め、成果目標（アウトカム）をつくる必要があると考え、第四期にはそれを推進していく期としたい。

○第三期 実施事業

NO	事業名	プログラム	主な対象者
1	学生への キャリア教育事業	①桜坂高校「桜坂タイム」授業サポート 授業サポート回数:15回 実施対象:桜坂高校 高校生数400人(主に2学年・3学年)	高校生
		②石巻西高校総合的な探究の時間授業サポート 授業サポート回数:22回 実施対象:西高校 高校生数約335人(主に1学年・2学年)	
		③石巻高校総合的な探究の時間授業サポート 授業サポート回数:14回 実施対象:石巻高校 高校生数約250人(主に1学年・2学年)	
		④「高校生のための石巻探究図鑑」の発行 と冊子を活用したキャリア教育授業 発行部数:1500部(石巻地域の各高校に配布) 授業実施校:桜坂高校、西高校、石巻高校 実施対象:高校生数720人(主に1学年・2学年)	
		⑤石巻で自分の好きを見つけるボランティア 「まきボラ」 受入事業所数:30事業所 実施対象:石巻地域の高校生 110名(学校学年は様々)	

2	学生への キャリア教育事業 / 人材の職業適正能力 開発のための研修、 コーディネート	①石巻地域社会人との対話によるキャリア発達支援 (ミライブラリー) 授業実施校:桜坂高校、商業高校、北高校 実施対象:高校生数 390人(各学校の1学年)	高校生 若手社会人
		②登米管内における高校生と社会人との対話による キャリア教育支援業務(ミライブラリー) 授業実施校:登米総合産業高校 実施対象:高校生数180人(1学年)	
		③気仙沼・本吉地域社会人との対話によるキャリア 発達支援(ミライブラリー) 授業実施校:志津川中学校、南三陸高校 実施対象:中学生 人(2学年)高校生 人(1学年)	
3	学生への研修 プログラムの企画、 コンサルタント事業	①放課後探究サポート活動 授業実施校:西高校、石巻高校 実施対象:高校生数のべ40人	高校生
4	人材の職業適正能力の 開発のための 研修、コーディネート	①石巻地域同期研修 研修実施回数6回 実施対象:若手社会人(25歳以下)12名	若手社会人
		②SeaE0採用・人材育成(フィッシャーマン・ジャパン業務支援) 実施対象:水産会社に従事する若手社会人(25歳以下)10名	
5	人材の募集に関する 情報提供サービス	①石巻地域の高校生及び若手社会人への意識調査 アンケート対象:石巻地域の高校生1828人、社会人88人	地元企業経営 ・管理職 人事担当者
6	経営者、管理者に対する 研修/コミュニティ 支援事業	①石巻人事部 事務局運営 会議実施回数:4回 参加者:地元企業経営者・人事担当10人、大学教員3人	地元企業経営 ・管理職 人事担当者
		②石巻人事研究会 研修会数:3回 参加者:地元企業経営者・人事担当 20人、高校教員8人	
		①人材戦略策定会議 参加者:地元企業10社、会議実施:4回 制作物:「若者が働きたいまち」石巻地域 人材戦略REPORT	
7	文化シンポジウムの 企画、立案、運営	①教育シンポジウム石巻実行委員会 事務局運営 実行委員:11人、実行委員会実施回数9回 石巻教育カンファレンス2023参加者:65人	学生 教員 行政 教育関係者

○各実施事業の概要

NO	プログラム	概要等
1 学生へのキャリア教育授業		
①	桜坂高校「桜坂タイム」授業サポート	○概要 石巻唯一の市立高校である桜坂高校にて、総合的な探究の時間「桜坂タイム」の授業企画案作成及び授業実施と地域コーディネートによるサポート業務を行う。昨年度より新学習指導要領となり、より探究的な学びに力を入れていく予定である。 ○主な支援活動 ・1学年：フィールドワークの授業サポート ・2学年：個人探究支援、夏休み課外活動コーディネート (地域の方への訪問、インタビュー) ・3学年：進路探究の個人相談対応
②	石巻西高校 総合的な探究の時間 授業サポート	○概要 石巻西高校の総合的な探究の時間の授業サポート。一昨年度までは文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定校予算で実施し、昨年度より独自予算によるサポート事業を委託。 ○主な支援活動 ・1学年：街ライブラリー、街ミッション (3日間の課題解決型 フィールドワーク) ・2学年：街クエスト（高校生が自身の興味関心に基づき設定した探究テーマを深めるための地域フィールドワーク） ・3学年：課題探究活動（自由にテーマを決めて、卒業後の進路にもつながるような自分のテーマを見つける活動） ・1～3学年：各種講演会（探究活動講演会）コーディネート、 課題研究発表会・全体発表会の運営及び記録 ・地域協働事業推進委員会の参加
③	石巻高校総合的な探究の時間授業サポート	○概要 石巻高校の総合的な探究の時間の授業サポート。宮城県教育委員会による「進学拠点校改革推進事業」の指定校に石巻高校が選ばれ、その予算にて「探究コーディネーター」の委託事業者として「地域協働による探究活動」をサポートする ○主な支援活動 ・1学年：グループ探究活動支援、夏休み課外フィールドワークサポート 探究授業プログラム作成 ・2学年：個人探究支援、夏休み課外活動コーディネート ・3学年：個人相談対応
④	「高校生のためのいしのまき探究図鑑」を活用した キャリア教育授業	○概要 昨年度のハタチ基金助成により作成した冊子を活用し、高校生が自分の興味関心に基づいて、気軽に石巻地域について知ったり、アクセスしたりできる環境を作り、地域への興味・関心を育む。 ○授業実施校数、冊子配布校数 ・活用プログラム提供：高校3校で年6回以上 ・学校部数：1500部

⑤	石巻で自分の好きを見つけるボランティア 「まきボラ」	○概要 高校生が、自ら興味を持った地域の団体や企業を選び、授業外での自発的なボランティア参加(単なるお手伝いで終わらない成長につながる活動)ができるプラットフォームの立ち上げを行う。 「地域で何かしたい高校生」と「ボランティアをしてほしい団体」をつなげる場をWebページにて作成。 また、ボランティアを受け入れてくれた団体へは謝金を準備することで、団体側の受け入れ体制を整えてもらい、高校生の「やってみたい」を尊重できる環境を作る。 2024年度以降の目標として、高校生自身が学びたいスキルを習得できる講座の開設なども行いたいと考えている。 ○参加高校生数、まきボラ実施プログラム数 年100人以上の高校生が参加、年30件以上のプログラムを実施
2 学生へのキャリア教育事業／人材の職業適正能力の開発のための研修、コーディネート		
①	石巻地域社会人との対話によるキャリア発達支援 (ミライブラリー)	○概要 石巻地域の高校生が地元地域で働く若手社会人の先輩と対話することで、「生きること」や「働く事」、「地元地域」について考える機会をつくる事業。高校生への事前授業や振り返り、参加する社会人向けに事前研修も行う。 ○実施学校 石巻桜坂高校、石巻商業高校、石巻北高校
②	登米管内における高校生と社会人との対話によるキャリア教育支援業務 (ミライブラリー)	○概要 登米地域の中学生及び高校生が地元地域で働く若手社会人の先輩と対話することで、「生きること」や「働く事」、「地元地域」について考える機会をつくる事業。高校生への事前授業や振り返り、参加する社会人向けに事前研修も行う。 ○実施学校 宮城県登米総合産業高等学校
③	気仙沼・本吉地域社会人との対話によるキャリア発達支援 (ミライブラリー)	○概要 気仙沼・本吉地域の高校生が地元地域で働く若手社会人の先輩と対話することで、「生きること」や「働く事」、「地元地域」について考える機会をつくる事業。高校生への事前授業や振り返り、参加する社会人向けに事前研修も行う。 ○実施学校 宮城県南三陸高等学校、南三陸町立志津川中学校

3 学生への研修プログラムの企画、コンサルタント事業		
①	放課後探究サポート活動	○概要 学校と連携し、放課後の空き教室で、探究活動ややりたいことの支援、進路等の相談にのる活動を実施する。授業サポートだけでは拾いきれない高校生のもっと探究をしたい、相談をしたいというニーズに応えるための事業となる。 ○実施頻度、人数 ・石巻西高校及び石巻高校で実施 ・各高校隔での実施（テスト期間や長期休み期間は除く）
②	ナナメのつながりプロジェクト	○概要 高校生と世代の異なる地域の大人(=ナナメのつながり)が、単発的なイベントではなく継続的につながる場をつくり、日常的に地域とのつながりを感じられるコミュニティづくりを行う。高校生が地域の大人と定期的に交流会やイベント企画を共にすることで、普段から悩みや進路の相談ができる関係性を育む。 また、「マイプロジェクト」を実行したい高校生の伴走もこのプロジェクトのコミュニティで行っていく。 ○実施頻度、人数 年間5回の実施、高校生5人
4 人材の職業適正能力の開発のための研修、コーディネート		
①	石巻地域同期研修	○概要 石巻地域の高卒就職者を始めとした18歳～20代の若手社会人を対象に、企業と業種の垣根を越えた「地域同期」を形成し、参加者同士の対話と相互触発による学びや気づきを得るための研修を実施する。地方地域の中で自分なりの「生き方」「働き方」を見つけていくことを目指す。 ○実施頻度、参加者人数 ・10月～翌年2月まで月1回程度（計5回） ・参加人数：若手社会人各回12人
②	SeaEO採用・人材育成 （フィッシャーマン・ジャパン業務支援）	○概要 三陸の水産業を本気で変えようとしている経営者の右腕となる若手人材「SeaEO」の採用と育成を行うプロジェクト。 若手人材の新人研修や個別メンタリングを業務委託により協力。 ○実施頻度、参加者人数 <石巻地域> ・月次振り返り研修：月1回 ・個別メンタリング：1人ずつ月1回 ・参加人数：若手社会人6名（5社） <三陸（岩手・宮城・福島）地域> ・研修：年3回 ・参加人数：10名

5 人材の募集に関する情報提供サービス		
①	石巻地域の高校生 及び若手社会人への 意識調査	○概要 地域企業が「今どきの若者」について理解を深め、将来的に地域への就職率向上につなげるための意識調査を実施する。 地域の高校生や高校の進路部教員を対象に、地域企業・仕事についての考えや、石巻地域での就職を希望する際に必要な情報・環境等を調査する。また、地域企業の若手社会人に対しても定着・育成に必要とされることを導きだすための調査を行い、各調査の結果を分析する。 得られたデータはレポートとして本事業に参画する企業にフィードバックし、地域や若者の実態に即した求人・採用戦略構築の基とする。 ○対象高校・企業数 高校9校、企業20社以上
6 経営者、管理者、一般社員に対する教育／コミュニティづくり支援事業		
①	石巻人事部 事務局運営	○概要 「地域ぐるみで人材を育てる」をコンセプトに、地元企業18社と立ち上げたプロジェクトチームによる活動。「地域同期研修」や「石巻人事研究会」等の企画を検討し運営について検討する「石巻人事部カイギ」を月1回の頻度で実施する。 ○実施頻度、参加者人数 ・年3回程度実施 ・参加人数：各回地元企業経営管理職者12人
②	石巻人事研究会	○概要 石巻地域の企業の経営者や人事担当者の皆様を対象に、参加者同士で学び合う研究会を実施する。地域の企業や組織が、会社や業種の垣根を越えて繋がり、若手社会人が成長する環境を共に作ることを目指す。 ○実施頻度、参加者人数 ・年3回程度 ・参加人数：各回地元企業経営管理職者15人
③	人材戦略策定会議	○概要 人材確保・育成・定着につながる取組内容について、検討するための会議を行なうとともに、石巻地域で「人と会社のいい関係」をつくっていくための中長期ビジョンを参画する企業と共につくる。石巻地域の人事課題、それに対して取組むべきこと、目指すこと等を協議し、石巻地域全体の人材戦略を描く。 ○実施頻度、参加者人数 ・6月から隔月1回実施（2023年度中に5回） ・参加人数：各回地元企業経営管理職者10人程度
7 文化シンポジウムの企画、立案、運営		
①	教育シンポジウム石巻 実行委員会運営	○概要 「石巻の若者の未来と地域づくり」をテーマにした、中高校生と地域の大人達との対話の場をつくる。運営は実行委員会形式で行い、実行委員にはテーマの当事者となる高校生や大学生、小中高大の教員や地元企業経営者、NPO職員等を募る。 ○実施時期、参加者人数 ・2024年2月に「石巻教育カンファレンス2023」を実施 - 参加者：65人 ・実行委員会実施回数9回